

# 立川

5

立川と語ろう 立川に生きよう  
May 2006  
écoutez bien Vol.24 No.258





# 新緑

5月、国営昭和記念公園が新緑に包まれると、畑の作物も急に伸びだす。麦はすでに穂をつけ、春先に植えたジャガ芋もしっかりと葉を繁らせる。畝間に次に収穫する落花生やサツマ芋を植え、野菜の種も播く。水田は田植え前の代掻き。里は農繁期を迎える。

プロの農家は畑を上手に使う。麦やジャガ芋を収穫する頃には次の作物がある程度育っているように工夫する。畝の間には落花生やサツマ芋。それに陸稲も加わる。穀物や芋だけでなく、ネギやニンジン、ゴマなどの野菜も作る。トマトやナス、キュウリは子どもたち「風の子団」の担当。

畑と違って水田は年に一度の収穫。それだけに事前の手間もかかる。田起こしに続いて水を入れての代掻き。せめて耕耘機がほしいところだが、昭和30年代の農家を再現するためにここでは全て手作業で仕事をこなす。苗代の苗の生育も気にかかる。

こもれびの里の活動は基本的に毎週土曜日だが、相手は生き物。週1回では日々の天候や生育に追いつかない。希望者が水曜日など他の日にも作業に当たる。ボランティアとはいえ気持はもう、ひとり前の農民だ。



荒金 多佳子さん (昭島市在住)

上の子どもが生まれてすぐに昭和記念公園の整備が始まり、自宅から近いので庭のような感覚。こもれびの里は、子どもを遊ばせるだけでなく親子で参加できそうだなと参加しました。自分たちの活動が目に見えるようになっていくのがうれしいですね。生きもののパワーはすごい。ここに来ると1週間分の疲れが吹き飛びます。

# 今年の夏こそ、正念場です



於：曙町 えくてびあん編集工房 写真：五米孝平

## 「クールビズ」の名付け親 田形 英明さん

■田形英明（たがた・ひであき）／昭和48（1973）年大阪生まれ。小学時代から国立で育ち、現在は立川在住。建物管理会社の営業をするサラリーマンが昨年、環境省（地球温暖化防止のための夏の軽装化）の愛称に応募した「クールビズ」が採用され、ブームを引き起こす。平成17年度立川市地域文化振興財団「コミュニティ奨励賞」が贈られた。

■芳賀敏博（はが・としひろ）／えくてびあん編集人

**芳賀** コミュニティ奨励賞受賞おめでとございます。僕も審査員として関わらせていただいたんですが、国民的ブームになった「クールビズ」の名付け親がこの立川にいらっしゃるなんて嬉しいですよ。「クールビズ」は去年の流行語大賞ベスト10にも入りましたが、受賞したのは小池環境大臣だったでしょ。だから立川市民から名付け親の田形さんに賞を贈らせていただきましょうと……。授賞式の時はスーツ、ネクタイでしたが、今日はぐっとカジュアルですね（笑）。

**田形** このスカジャンですか？ わりに好きなんです。ふだん会社に行くときはネクタイをしているので、休みの日にはだいたいこういう格好をしていますね。

**芳賀** 「クールビズ」というネーミングも、

サラリーマン生活から発想されたの？

**田形** よく聞かれるんですけど、覚えていないんです。去年の3月か4月頃、環境省から採用になったという連絡がありました。実は応募したことも忘れていたくらい。数年前からヒマな時に携帯サイトから公募や懸賞に応募していて、その中の一つとしてあまり深く考えずに応募していたんです。エコロジストというわけでもないし、ネーミングもそんないいとは思っていませんでしたから（笑）。6月に使われ始めるまで本当に使われるんだろうかと半信半疑でしたし、世の中で騒がれるようになるのが恥ずかしかったですね。

**芳賀** それで、あれよあれよと日本国中でブームになり、冬場には「ウォームビ

ズ」というのまで出てきました。ある調査によると「クールビズ」の経済効果は1000億円とも言われます。すぐお金のことを聞いてしまいますけど、賞金とかはあったんですか？

**田形** 愛知万博の会場で開かれた「クールビズ」のファッションショーに招待してくれました。といっても、もらったのは僕ひとりの往復交通費だけ。妻と娘の家族3人と私と妻の両親合わせて7人泊まりがけで行ったので、持ち出しの方が多かったですね。

**芳賀** だって経済効果1000億円ですよ。そんなものなんですか？

**田形** 公的な機関の募集は一般的にささやかなんです。賞金という点では民間企業の新商品のネーミングなんかの方がすごいですよ。でも僕の場合、会社の社長がとても喜んで、金一封を出してくれました。

**芳賀** それは良かった（笑）。会社勤めをしながら他に何かするって、けっこうエネルギーが要ると思うんですが、どういう時にネーミングを考えたりされるの？

**田形** 苦しんで考えたりはしませんよ。ふだんは会社の仕事をしているわけですし、あくまで楽しみとかヒマつぶしなんです。通勤電車の中とか、仕事で建物管理の営業ですから車で資材を現場まで運ぶ途中、渋滞に巻き込まれた時とか。いちばんいいのは金曜日の帰りの電車ですね。会社帰りにお酒を飲んでリラックスしている時。もう自分は天才じゃないかと思うくらい次から次に湧き出てくるんです。でもそれがいいものとは限らないし、たいてい次の朝には忘れてますけど（笑）。

**芳賀** そうそう。編集者というのもくタイトル商売>みたいなどころがあるんですが、うんうん唸っても全然思い浮かばなくて、一度そのことを忘れて肩の力を

抜いた時にボンといいのが出ることがありますから。ところで、サラリーマンの田形さんご自身の「クールビズ」はどうだったんですか？

**田形** それで……やっぱり会社という組織の人間ですしお客さんのある仕事ですから、なかなかネクタイなしというわけにはいなくて。「クールビズ」で出るようになったのは、夏もそろそろ終わろうかという頃。仕事の関係上、役所の方ともお会いするので、相手に合わせないといけないですね。

**芳賀** 僕は、ふだんほとんどネクタイをすることがなくて、ずっと前から「クールビズ」のようなものだけ（笑）、やはり時と場合によってはネクタイを締めますね。去年の夏テレビを観ていると、音頭取りをした小泉首相は外国の要人がビシッとスーツにネクタイ姿で来ても平気でノーネクタイで通していました。それに比べて他の関係とか官僚の方たちはどうも腰が引けているようなんだけど、トップがそれで通すからやっぱりノーネクタイにしている。それがテレビ画面からも見てとれて面白かった。

**田形** サラリーマンの世界と同じなんです。総理大臣と比べるのもどうかと思いますが、企業でもトップ、上司がやってくれば下の人間もやりやすくなります。夏場でもスーツにネクタイを締めるサラリーマンのスタイルは、もう何十年も続いてきたわけです。それを外す、夏場ネクタイを外すというのは、僕たちより上の年代の方にとってはものすごく抵抗が強いはずなんです。サラリーマンが心理的にネクタイを外しやすい環境を整備しないとイケないんじゃないかな。

**芳賀** そういば、昔「省エネルギー」というのが鳴り物入りで登場したことがありました。でも数年で下火になって今ではほとんど誰も覚えてさえない。「クールビズ」は、日本人の夏の

ライフスタイルを変えようというところで「省エネルギー」より洗練されているし、地に足の着いた運動だと思んですが、これも一時的な流行に終わらせてはもったいないですね。

**田形** 「省エネルギー」って、ネーミングのインパクトは「クールビズ」よりずっとすごいと思いますよ。ただ、いきなり今でも羽田さんが着ていらっしゃる、あのスタイルがドーンと出てきたでしょ。みんなヒキますよ（笑）。「クールビズ」は新しく何か買わなくてもいいですよ、ネクタイを外してエアコンの温度を2度ほど上げましょうですから、受け入れられやすかったんですね。それで流行語になったわけですが、スタイルが根づいたかといえ、あと数年は牽引が必要なんじゃないでしょうか。その意味で、今年の夏が「クールビズ」の本番であり、正念場だと思います。

**芳賀** なんといいても立川は「クールビズ」の名付け親の地ですから……。

**田形** 僕はネクタイも嫌いじゃないですけど、この夏は最初からネクタイを外しますよ。僕が言うのもおかしいですが「クールビズ」という名前が残らなくてもいいんです。むしろ数十年続いてきた夏のサラリーマンスタイルが変わることの方が大切じゃないかと思うんです。それだけでなく女性に比べて、男のビジネスファッションって選択の幅がほとんどありませんから。僕もサラリーマンとして、格好いい夏のビジネスファッションができればいいなと願っています。



そば処 そば 菜	錦町 1-20-15 522-7558
画廊 無門庵ギャラリー	錦町 1-24-26 529-2323
駄菓子・ファンシー むぎばたけ	錦町 2-1-1 526-0210
美容室 FALCO	錦町 2-1-10 528-2389
諸官庁御用達・日用雑貨 池田屋	錦町 2-1-10 522-3731
N HAIR WORLD	錦町 2-1-18-1F 523-5336
手打ち 更科もとおか	錦町 2-1-27 528-2345
しゃぶしゃぶ・鍋料理 しゃぶ・りん	錦町 2-1-33-3F 527-2228
スペイン料理 TAPAS	錦町 2-2-29 529-0733
Bakery Cafe Crown	錦町 2-4-2 526-2226
三田花店本店	錦町 2-5-23 524-4187
(有)朝日屋酒店	錦町 2-6-12 525-6333
にしやま薬局	錦町 2-7-8 525-9212
パスタの店 パセリ	錦町 3-1-21 525-8486
アミューたちかわ	錦町 3-3-20 526-1311
多摩信用金庫 錦町支店	錦町 3-6-9 528-0511
そば処 高尾亭	錦町 5-5-31 522-2710
Natural Food Restaurant シェイなば	錦町 5-19-9 529-5921
レストラン ラ・ポボラリータ	錦町 6-28-15 527-0031
高齢者総合施設 至誠ホーム	錦町 6-28-15 527-0031

えくてびあんの輪  
立川と語ろう 立川に生きよう  
えくてびあんな  
リストのお店にいつもあります

今月は 錦町・羽衣町・柴崎町のお店です。

韓国居酒屋 木浦館	羽衣町 1-18-1-1F 527-3006
多摩信用金庫 東立川支店	羽衣町 1-19-6 524-0611
Cake Studio 35	羽衣町 2-6-1 527-6808
林 齒科	羽衣町 2-7-10 522-5657
中島豆腐店	羽衣町 2-12-34 522-5732
フレッシュフルーツ 立川商店	羽衣町 2-30-6 522-3565
化粧品 OZAWA	羽衣町 2-31-1 522-3749
本・事務用品 泰明堂	羽衣町 2-31-1 522-3353
額縁 額縁専門店 プリムベール	羽衣町 2-32-6 528-6789
文具の ないとう	羽衣町 2-33-1 522-3677
テーラー 安武	羽衣町 2-33-11 522-4820
株式会社 西友 西国立店	羽衣町 2-40-1 524-5101
赤松タバコ店	羽衣町 2-42 524-7852
まごころ銘茶 狭山園	羽衣町 2-45-1 527-0146
美容室 ヒロイン 紅	羽衣町 3-2-4-1F 526-0018
蕎麦処 かめ井	羽衣町 3-2-17 524-8101
パスタビーノ はしや	柴崎町 2-1-6-B1 521-3386
明誠書房	柴崎町 2-1-11 523-6700
味乃 寿司 由	柴崎町 2-2-8 522-3733
株式会社 一心堂	柴崎町 2-2-16 527-3777

# オーケストラはお好き？

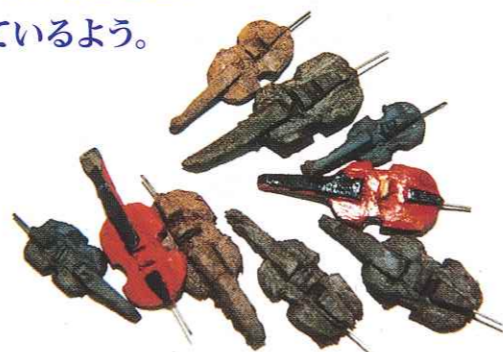
## イメージを粘土で創り上げたはんこ屋さん

市役所にも近い立川南通り沿いの錦町、アート印章のショーウィンドーに小さな小さなオーケストラが飾ってある。通る人が足をとめてのぞき込む。一目で手作りわかる粘土細工だが、まるで本当に演奏しているよう。曲目は何？と想像するのもまた楽しい。

写真：五来孝平



浅倉学さん



指揮はベートーベン！



引き出しの上に板を置いて作業台を作る。



店内のオーケストラ。レコード盤上でクルクルまわる。

店主 浅倉学さんの元来の趣味は絵を描くこと。店内には自身の絵画や奥様の撮った写真がたくさん飾られている。仕事にBGMで流しているクラシック音楽を聞いているうちに、いつしか頭の中に演奏中のオーケストラが浮かんできた。やがてそのオーケストラがレコード盤上でクルクルと回りだす。このイメージをなんとか具現化できないものか。それがミニチュアオーケストラづくりの始まりだった。

まずは素材探しから。仕上げにオーブントースターで焼き上げる粘土を見つけ、試作品はある程度大きなものを創った。試行錯誤しながらようやく1cm角の粘土から一体創れるまでに。なるべく正確にオーケストラを再現しようとしたとき、趣味の絵心が役立つ。コンサートを聴きにいったときの記憶を頭に描きながら創る。それでも、何となく絵には描けても実際に形にしようとするときできないものもある。そんなときは演奏家にじかに聞いたり、本を買って勉強もした。

やがて記念すべき第一号ができあがり、店頭のショーウィンドーを飾った。すぐに反響があった。店にやってきた女性が「ピアノは入れないのですか?」。実はグランドピアノのふたを開けたところがよくわからないので……。翌々日にはその女性が自宅のグランドピアノの写真を持ってきてくれた。日本手工芸美術展覧会に出品して第29回理事長賞を受賞し、その後都響スタッフの目にとまり、都響の年賀状やメトロカードにもなった。

型を作ってしまうと簡単だが、そうはしない。一体一体1cm角の粘土からこしらえる。だいたい仕事の間や、店を閉めてから創る。60体余りの人形に楽器を持たせ表情をつけると、一編成のオーケストラを作成するのに2~3月のはかかってしまう。仕事でもない元来の趣味でもないからこそ、ゆったりと楽しみながら創りたいときに粘土をいじる。店内に飾られたオーケストラはベートーベンが指揮している。創りかけの人形の中に小沢征爾さんもいた。心底楽しんで創っているのがわかる。

立川と多摩地域が  
もっと楽しいホームページ

**多摩てはこ  
ネット**

http://www.tamatebako-net.ne.jp/

多摩てはこネット編集工房  
〒190-0012 立川市曙町3-4-3 武蔵ビル2F  
tel 042-548-9606 fax 042-548-9609  
e-mail message@tamatebako-net.ne.jp

**常楽我浄**  
真如苑提供番組くじらくがじょう

スカイパーフェクトTV 216ch、マイテレビ 84ch

土 曜 午前9時～9時15分  
午後7時15分～7時30分  
再放送/火曜 午前9時～9時15分  
午後7時45分～8時  
放送時間は予告なく変更する場合がございます。

立川に育てられて七十年  
**真如苑**  
柴崎町1-2-13 Tel. 527-0111(代)

URL http://www.kami.co.jp/

**紙**

資源を活かし  
文化を継承

株式会社 **立川紙業**

☎042(527)6111 FAX.042(528)0080  
〒190-0023 立川市柴崎町2-7-6  
配送センター◆☎042(560)2311

私たちは「と」のための会社です。

人と人、企業と企業、企業・商店とお客さま……  
いろいろなコミュニケーションがあります。  
私たち大廣社は、この「と」を的確に、迅速に、効果的に、  
行なっている会社です。

**と**

大廣社は、企画デザインから  
印刷加工まで自社内で行っています。

PLANNING・DESIGNING  
PROCESSING・PRINTING

〒190-0022 東京都立川市錦町5-17-13  
☎042-527-1949 FAX.527-1949  
E-mail info@daikousya.jp

えくてびあん流

## タスキをつないで27年

### 若葉町陸上部 100km完走駅伝大会

若葉町陸上部といえば、以前本誌239号(2004年10月号)で小学6年男子100m東京都代表を生んだ陸上部としてご紹介したことがある。今回は、短距離ではなく駅伝。

子どもたちが春休みに入った最初の日曜日、若葉町陸上部恒例の100km完走駅伝大会が行われた。走るのは陸上部に所属する小学2年生から6年生まで男女合わせて23人。コースは若葉町団地を周回する若葉町トリムジョギングコースで、1周1,330m。ひとりが



2周走って次走者にタスキを渡す。原則として4年生以上は2度走る。合計75周に第一走者が250mよけいに走って100km。

27年間続くこの駅伝、もともとは山梨県塩山から若葉町まで走るコースだった。が、近年の交通事情を考慮して安全な立川市指定ジョギングコースに変更。コースは変わってもタスキをつなぐ子どもたちのイキイキとした表情は変わらない。中学生以上の先輩たちが代わる代わる伴走し、一日がかりの駅伝をみんな一緒に楽しんでいた。

コース内には陸上部の父兄、若葉町体育会役員、青少年健全育成若葉町地区委員らが交通整理係として参加し、子どもたちの安全を見守る。子どもたちも温かい眼差しに支えられ、競争ではなくみんなで完走することを目的に自分の役割を果たすためにがんばる。子どもも大人も笑顔で挨拶を交わす姿に、駅伝も街ぐるみの青少年育成の一環なのがよくわかった。

## この人この店 34

### 食遊堂 すわ駒

店主 田澤 剛さん



「おいしいから行ってみたい」と言われて来たのが(すわ駒)さん。柴崎町のお風呂屋さん(高砂湯)の目の前にあります。都内のホテルで中華の腕をふるうこと17年。その後生まれ育った柴崎町に戻って1年半になります。本格中華だけでなく、ごひいきのお客さまが毎日来てくださっても飽きないように、食べごたえのある大ぶりの焼き魚、お皿にたっぷりの生姜焼き、シャキシャキ野菜にキラケのプリプリ感がたまらない野菜炒め、他にもいろいろな定食が用意されています。夜になると旬の素材でおつまみも出て、一言でいえば「おいしいものが食べられる呑み食いどころ」。どうして中華を? 「中華が一番いい加減だから」なんて田澤さんはおっしゃるけれど、地元の好みを心得た味付けは、何を食べてもしっかりツポにはまっています。地元出身、それが強みですね! 「いいんだか悪いんだか……」と田澤さん。



〒190-0023  
立川市柴崎町2-10-3 福川ビル1F  
TEL/FAX 042-526-3908  
定休日 日曜日  
営業時間 11:30～14:00  
17:00～23:00

写真撮影: 五来孝平

タチカワ誰故草 34

## シネマシティの純真観客

森 忠明

(おつ、幸せになった二木てるみ!)

二月十七日、パレスホテル立川における恒例えくてびあんパーティーで、「シネマシティ」支配人代理・古川ゆかり氏(本誌昨年六月月号表紙の「人」が、私に名刺をくださった時の第一印象である。明瞳、実にシヤルマン。

女優・二木てるみは私より一歳下。かの名作「警察日記」(55・久松静児監督)に出演したのは四つか五つの頃だった。哀れこの上ない棄児の役で、老けた巡査役の森繁久彌が戸惑いながらも懸命にケアするシーンに、小学二年生観客の私は生まれて初めて感涙にむせんだ。あの幼女の姿は、「禁じられた遊び」(52・ルネ・クレマン監督)のポーレットちゃんと同様に忘れがたい。

拙著「グリーン・アイズ」(小峰書店)は、昭和三十一年代の立川の映画館が主人公みたまの童話。赤い鳥文学賞をもらうと、未知の大人読者から十通ばかりの手紙がきて、

「小学生の森くんがランドセルをしょったまま一人で映画をみているにも注意などされないう立川という町。高校生になっても怒られてつまみ出された田舎の映画館との差にガクゼン」というような内容の二通あった。

当時、立川二小正門前、古谷文房具店の横には、上映中のポスターを貼る上下二段の掲示板があり、松竹、大映、日活、東宝、新東宝、それに洋画――まさに百花擡乱。文部省推薦ものからポルノまで、決して



挿画: 野崎義成

は私の最高学府であった。

我が父森忠雄は一冊の本も買ってくれなかったが、映画代だけはくれた。国立郵便局で四十余年間、実直に働きつづけた父の趣味は映画のみ。A級B級の分別せず、感想など全く言わず、ひたすら幸せそうに観つづけて死んだ。それを息子は純真観客と呼ぶ。

かえりみれば、名編集者は私の正師であり、映画館

光村図書出版株式会社の重役・紀伊萬年氏は、早稲田の学生時代、カスババりのムードあふれるタチカワのシネマやバーを闊歩していたらしい。俳優・安藤昇ふうの強面が、タチカワと美女と子どもについて語る時だけ、池部良ふうの甘さを漂わせておられた。きっと、この街に青春のいい思い出があるのだ。

「敗北主義の森の作品を教科書に載せるなんて信じられん」。

と不快がる関係者たちを説き伏せ? 紀伊氏が拙作を採用してくれた主な理由は、私の書いたものがすぐれていたからじゃなく、タチカワへの思い入れが深かったためではなからうか。

して愉しくはない学校生活とは正反対の楽園ないし花夢があるのだ、というところが黙示、いや、堂々と告示されていたのだから、森少年がその場を去り、あの妖しくも慕わしい暗黒へ向かうのは仕方なく、ひとつの可憐な胎内帰願望であったとみなせば、誰がその怠学を責めることができよう。

表紙の人

堀江 朋子さん(錦町)

フラメンコは日本人のメンタリティーに響くものがある。靴音も高く時に情熱的に、時に情感を込めて踊る愛好者は多いが、プロのフラメンコダンサーとして今後を嘱望されている。立川生まれの立川育ち。大学在学中にフラメンコと出会い、1995年にスペインに留学。帰国後2000年には再度スペインに渡り、本場アンダルシア地方セビージャ(セビリア)で多くのアーティストから技術とフラメンコの心を吸収した。全国の舞台、イベントで活躍する一方、5月恒例となった立川フラメンコフェスティバルにも参加。今年も5月5日午後、JRAウイングの特設舞台に立つ。

都立農業試験場で 写真: 細江英公

## かたこと

桜の花が終わり柳の新芽が日一日と濃さを増し、ハナミズキの花が咲くと季節は初夏に向かいます。4月23日には国営昭和記念公園や立川の街のあちこちから音楽が流れる「たちかわみんなの音楽祭」VIEWは、小さな小さな音楽家たちの演奏が聴こえてきそうな粘土細工のオーケストラ。本業ではないことにかかる情熱はすばらしい。いや本業でないからこそかけられる情熱かもしれません。4月末からの大型連休、5月5日の「こどもの日」には約100人のフラメンコダンサーがずらり通りを大きなステージにする「立川フラメンコフェスティバル」。表紙を飾ってくれた堀江朋子さんもフェスティバルで華麗な踊りを見られます。夏は上着やネクタイをとる――昨年、政府の音頭取りで始まった「クールビズ」の名付け親は対談させていただいた田形英明さんその人です。以前「省エネルック」というもありました。が、今では誰も覚えていない。趣旨はすばらしいのですから、クールビズは日本の習慣として定着してほしいもの。名付け親が気をもんでいるのもそのことでした。えくてびあんも爽やかにいきたいものです。(芳)

スタッフ  
編集 大久保清志/清水恵美子/中薫子  
デザイン 池田隆男(WATER DESIGN ASSOCIATES)  
AMNET design factory  
写真 五来孝平

えくてびあん (C) 5月号  
第24巻 通巻258号  
平成18年5月1日発行  
発行 えくてびあん編集工房  
〒190-0012  
東京都立川市曙町2-17-5 杉田ビル3F  
TEL 042-528-0082 FAX 042-528-0065  
編集人 芳賀敏博  
発行人 加賀悦也  
印刷 (株)大廣社

無断転載を禁じます。

## 【ずんだまんじゅう】 【よもぎまんじゅう】

春本番から初夏へと移り変わる時期。多摩の川原も遠い山もいろいろな緑で覆われてくる。香り立つ蓬よもぎを皮にも餡にも練り込んだよもぎまんじゅう。白い皮は、ずんだ餡。ほんのり甘い皮を二つに割れば、ずんだ独特の緑がのぞく。お店先でも緑満喫。

(飯島／柴崎町)



## 立川和菓子ものがたり

目に美しく食して美味 ④

### 【りんご浮島】

カステラのように見える部分は白餡と卵を合わせ蒸す。あっさりした甘みの中にはさんだ紅玉の酸味が引き立てる。しつとりとしていて重量感がありながら、さっぱりいただけける。陽に照らされて黄金色に輝く水面に映える浮島そのもののように。

(ゆうき／錦町)

